

## 産業廃棄物処理計画書

25年10月10日

都道府県知事  
(市長)

殿



提出者 住 所 大分県豊後高田市小田原2559  
 氏 名 有限会社 高田牧場 仲井光興  
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 0978 22 3942

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 高田牧場
事業場の所在地	豊後高田市小田原2559
計画期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	01 農業
②事業の規模	牛 800頭
③従業員数	2名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の死体 ① 自然堆肥化 動物の死体 ② 処理業者へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役(廃棄物統括責任者)  
 " ( 実務担当者 )

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(24年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	牛糞	牛の死体
	排出量	4000 t	4500 t
(これまでに実施した取組)			日大化成 $\rightarrow$ 18頭入=250 k
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛糞	牛の死体
	排出量	4000 t	4.5 t
(今後実施する予定の取組)			日大化成 $\rightarrow$

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛ふん	牛の死体
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	4000 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
堆肥化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛ふん	牛の死体
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	4000 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
堆肥化			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛ふん	牛の死体
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛ふん	牛の死体
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度(平成24年度) 実績】		
①現状		産業廃棄物の種類	牛ふん	牛の死体
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		0 t	0 t	
(これまでに実施した取組)			<i>該当なし</i>	
②計画		【目標】		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)			<i>該当なし</i>	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度(平成24年度) 実績】		
①現状		産業廃棄物の種類	牛ふん	動物の死体
全処理委託量		0 日本化成 <del>支</del>	+8頭 <del>45支</del>	
優良認定処理業者への 処理委託量		0 t	4.5 t	
再生利用業者への 処理委託量		0 t	0 t	
認定熱回収業者への 処理委託量		0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		0 t	0 t	
(これまでに実施した取組)			<i>牛の死体は化製場に委託して処理している</i>	

		【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類	牛ふん	牛の死体
	全処理委託量	0 t	4.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	4.5 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
動物の死体は化製場に委託(次回)12.3.			
※事務処理欄			